

社協だより

社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会

しあわせ

2016年
1月1日発行
No.142



新春のごあいさつ・防災メモ	2
第15回関ヶ原町社会福祉大会	3
10月・11月イベント報告	4
さくらんぼ通信	5
ボランティアセンターだより	6
福祉協力校だより 今須中学校	7
情報あれこれ	8



新春のご挨拶

社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会

会長 三輪 均

新年あけましておめでとうございませう。輝かしい新春を皆様方にはご家族おそろいで迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、社会福祉協議会の活動に對しまして格別なるご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、十月に「新しくフレンドパーク」、十一月には「第十五回関ヶ原町社会福祉大会」「いきいきサロン」のつどいを、地域の皆さま、福祉推進員、民生児童委員、各種福祉団体等々の皆さまのご参加とご協力のもと盛大に開催することができました。また十二月には、「福祉センターふゆまつり」「年末お買い物バス」を開催しこちらも盛況のうちに終了することができました。どの事業も、募金などを通じて地域の皆さまのご協力、行政の理解があつてこそのものであり、すべての皆様に厚くお礼申し上げます。

近年、わたしたちの暮らしは、急速な変化を見せており、年金や介護保険など公的な福祉サービスだけでは対応しきれない問題(暮らしにくさ)が多くなってきました。社会福祉協議会は、民間である機動性を活かした「支えあ

い活動」「見守り活動」などに加え「買い物弱者支援」や「居場所づくり」など新しい課題にも着目した幅広い小地域福祉活動を、行政はもとより、各種関係機関や民間諸団体との連携を図りながら推進して参りたいと考えております。ぜひ、皆さんからのご意見や事業への参加を通じてより一層のお力添えをお願いいたします。

現在、地域福祉活動の指針を示す五年計画である「第四次地域福祉活動計画(平成二十八年度から三十二年度)」の策定を進めております。「支えあい みんなでつくる わたしの地域」をめざして地域の皆さまにお願いした意識調査の結果や策定委員会での協議を経て、春には皆様方にお示しできることと思ひます。

本年も皆様から期待され、信頼される社会福祉協議会を目指して、「社協の見える化」と「双方向の事業展開」のふたつをキーワードに、役員職員一同努力して参りますので一層のご支援ご協力をお願いいたします。最後にになりましたが、この新しい年が、皆さまにとって良き年となりますよう心からご祈念申し上げます。



第11回 非常食の進化 あたたかみのある非常食を

種類も増え
よりおいしく
なりました



※写真はイメージ

何が変わったの??

- ・パンはパンでもふくらしたパンもあるんです!
 - ・お水でも作れるようになりました!
 - ・アレルギーに対応した商品が増えました。
- ※商品によって対応しているアレルギーが異なります。

まずは、何を準備するの??

- ・最低3日分の食糧を確保しましょう。
- ・水は1日3リットル (一人あたり) 必要。

次回最終回
被災地へ支援に行った体験より
をお届けします。

第15回 関ヶ原町社会福祉大会

11月28日(土)関ヶ原町ふれあいセンターにて、第15回関ヶ原町社会福祉大会を開催しました。

式典では、社会福祉活動に積極的に取り組まれた方々や福祉関係者の方々等へ表彰状・感謝状が贈られました。



表彰を受けられたみなさん 〈敬称略・順不同〉

●表彰状贈呈者

- 〈民生児童委員〉 安藤 道子
- 〈老人クラブ〉 北川昇美夫
- 〈介護〉 高木 節子 西村 進一
- 〈福祉推進員〉 山根 悦子 川瀬千鶴子
- 〈社会福祉活動〉 矢野 範治 山田 正伸
- 〈社協役員・評議員〉 北村美代子

●感謝状贈呈者

- 〈社会福祉活動〉 西村 光昭 三輪 珠代
- 西村キミ子 古山 廣司
- 〈多額寄付者〉 生駒 敏幸 西脇 茂夫
- 関ヶ原町自治会連合会
- 瀧山 昌弘 若原 時子
- 生駒 弘 安藤 道子

講演

『笑いの力』

～ホスピタル・クラウンの現場から～

おおむね
講師 **大棟 耕介氏**



闘病中の子どもたちに笑顔を届ける「ホスピタル・クラウン」の大棟耕介さんにご講演いただきました。

「笑いの力」と題し、ホスピタル・クラウンとしての活動の様子などを、



パフォーマンスをまじえながらお話いただき、笑いあり、感動ありの90分間でした。

ありがとうございました



手話通訳でお世話になりました。

高木みどりさん
小川まさ江さん
本田みゆきさん



福祉推進員の方々には駐車場係、受付としてお手伝いいただきました。



※社会福祉大会は、歳末たすけあい募金の配分を受けて開催しました。

第2回 ふれあい グラウンド・ゴルフ交流会

10月21日(火)今年で2回目となる「第2回ふれあいグラウンド・ゴルフ交流会」が関ヶ原グラウンド・ゴルフ場にて開催されました。

約140名の参加者のうち、12名の方が初心者とのことでしたが、サロンや地区を超えて、プレーを共に、大盛り上がりでした。



プレー開始前のごあいさつ
皆さん、笑顔!!



第14回 いきいきサロンのつどい開催

11月12日(木)、関ヶ原ふれあいセンターにおいて「いきいきサロンのつどい」が開催されました。約320名の方が参加されました。

“桂三風師匠”考案の「客席参加型落語」は、会場一体となって大笑い!!

吉本興業若手芸人の方々や、関ヶ原コーラスの発表と楽しい時間を過ごされました。幸運な方には、サイン寄せ書きが桂三風師匠より手渡されました。



介護者のつどい

11月9日(月)、日頃ご家族の介護をされている方々を対象に日帰りバス旅行を開催しました。

今年は、福井方面に行き、敦賀の小牧かまぼこ工場にてちくわ作りを体験しました。バスの中では、焼きたてのちくわをほおばり、「自分で作ったちくわはおいしいね～」とみなさん会話がはずみました。また、日本海さかな街では、両手いっぱいのお土産を買帰路へ向かいました。



おいしい食事とおしゃべりを楽しみ、みなさん気分をリフレッシュしていただけたと思います。



ひとり暮らしのつどい

11月26日(木)、70歳以上のひとり暮らしの方々を対象に日帰り旅行を開催しました。

今年は、モレウ岐阜大テントで開催されている「ポップサーカス」を観に行きました。空中ブランコやピエロショー、可愛い犬のショーなどとても素晴らしく、時には失敗もありましたがはらはらドキドキの1時間50分でした。みなさんから「サーカスなんて何十年ぶりかなあ～。楽しかったわ。ありがとう。」「本当、来て良かった。」などたくさんの言葉をいただきました。

昼食は、春日モリモリ村の薬膳料理をいただき、みなさんたくさんおしゃべりをして、両手いっぱいのお土産を買われました。



※この事業は歳末たすけあい募金の配分を受けて実施しました。

さくらんぼ通信

小規模授産所 さくらんぼの家 TEL43-1525

保護司会のみなさん ありがとうございます



暑い中、作業して頂き
ありがとうございました。

梅雨の合間の晴れた、7月2日木曜日。この日は「保護司会 不破地区 関ヶ原部会・女性会」の皆さんと一緒に、施設周辺の草取り・草刈り作業を行いました。保護司の皆さんとはなかなかお会いすることがない所生さん達。最初は緊張した面持ちで作業が始まりましたが、時間が経つにつれ少しずつ会話が増え、時折笑顔も見られるようになりました。いつも見守ってくださっている、保護司の皆さんと接することができた時間は、所生さん達にとってうれしい一時でした。この日施設の周りは、とてもきれいになりました。



あしたば会交流会



秋も深まった10月最後の金曜日。この日は日頃からお世話になっている、ボランティア団体「あしたば会」の皆さんとの交流会でした。お天気にも恵まれ、外では「草取り」や「葉牡丹植え」、「植木鉢の手入れ」に「里芋掘り」など、盛りだくさんの作業を一緒に行いました。あしたば会の皆さんとの作業は会話も弾み、とても和やかな雰囲気作業が進んでいきました。

お昼の休憩では、あしたば会さんからの「お弁当」や「手作り豚汁」、また差入れに頂いたお菓子等を皆で頂きました。

午後からは、普段から所生さんが行っている作業を、皆さんに体験していただきました。内容は「袋の紐通しとラベル付け」。現在も100円均一のお店の定番商品として販売されている、紙袋です。所生さん達はこの紙袋の「持ち手」となる部分には、「紐と商標ラベル」を取り付ける作業を日々行っています。この時は所生さんが「先生」となり、皆さんと隣同士に座り、作業をしました。パンチで空いた穴に紐を通し、ラベルを取り付けていく作業。見た目は簡単そうなのですが、いざ行ってみると「うまくできへん」、「こっちの向きで良かったんやろか？」などなど。初めての体験に、皆さん苦勞しているようでしたが、時間後半には「上手くできてる?」、「こんでいいんやよ」、「やっとコツがわかった」など、笑顔を見せながら時間いっぱいまで、体験していただきました。午前中の作業、楽しい食事会、そして作業体験と盛りだくさんの一日。所生さん達はあしたば会の皆さんと楽しい時間を過ごしました。



ボランティアセンターだより

NO. 101

さわやか



福島から「ありがとう」の気持ちを発信

全国ボランティアフェスティバルふくしま開催

十一月二十一日・二十二日、福島県郡山市において『第二十四回全国ボランティアフェスティバルふくしま』が開催され、関ヶ原町から七名が参加しました。

地震・津波・原発事故という複合災害に見舞われた福島県が、「ありがとう」と感謝を伝え、未来を創造する大会でもありました。

基調講演では、原発事故により全村避難を強いられている飯館村の菅野村長が、ゆっくり、ていねいに暮らす村づくり・絆づくりに取り組み様子を語られました。

二日目は会場を分けての分科会。関ヶ原町の参加者は、住みよい地域をつくるために自分たちができることは何かを考える「住民同士の支え合いについて」・人と人をつなぐ「レクリエーションボランティアについて」・大きな社会問題となっている「子どもの貧困と学習支援について」と、三つのテーマに沿って学びました。



▲関ヶ原町から参加のボランティアのみなさん



▲地域のために、どう取り組んでいるのか事例発表

夜は、福島のおいしいものが並び交流会があり、関ヶ原町のボランティアさんがお土産を七十個ほど用意してくださったので、全国から来られたみなさんにお配りしました。

「関ヶ原町をよろしく」と、お配りしました。中には、昨年、岐阜県での開催に参加された方もおられ、当町のボランティア連絡協議会で作ってお配りした風ぐるまを「大切に飾っていますよ」とおっしゃっていました。

また、三日目の二十二日には、関ヶ原町の七人は津波の被害にあった、いわき市のショッピングセンターを訪れ、担当者より地震発生時の様子や被害状況、何を失い、何を学んだのか、復興にむけてどう取り組んでいるのか、というお話しを聴きました。

懸命にがんばっても、目に見えない原発被害が売り上げ回復を阻んでいるというお話や、更地となった場所や建設中の新しい商業施設、津波被害の教訓を生かした港の整備とともに、いまだ、多くの人が生活する仮設住宅を目の当たりにし、復興を心より願いました。

この三日間で、感謝の気持ちを忘れない支え合いの大切さを学びました。

「ちいき」をテーマにかかげ 岐阜県ボランティア 市民活動フェスティバル 2015開催

十二月五日、恵那市において岐阜県社協主催の『岐阜県ボランティア市民活動フェスティバル2015』が行われました。

当町から八名が参加し、被災社会づくりについて・生活支援ボランティアについて・歴史を愛するまちづくりについて・地域に必要なボランティアについてと、四つにわかれての勉強会に参加しました。地域に必要なボランティアについて考える分科会で、印象に残ることはありました。

「相手を想い、一生懸命関わろう」として、うまくいかないこともある。それは貴重な体験です。だから、失敗を恐れないでください。」

その後、大阪ボランティア協会常務理事の早瀬昇氏による講演『未来を創るボランティア・市民活動』、なにをすべきなのかを聴きました。参加されたボランティアのみなさんは、ボランティアの心の基本「ほっとかれへん」気持ちを大切に、行政ではできない、市民だからこそできるということを強みに、自分らしいボランティア活動・市民活動をおこなっていきたい、と感想をおっしゃっていました。



▲県内から、多くのボランティアが集いました



福祉協力校だより



今須中学校

今須中学校の1年生は、総合的な学習の時間に「高齢社会に生きる」をテーマとして学習をしています。主に2つのグループに分かれ、「働くこと」と「介護」について調べています。高齢者の方はどんな仕事をしているのだろう。介護はどのように行っているのだろうと、生徒の疑問をもとに活動をはじめました。インターネットや文献を使った調べ学習だけでなく、積極的に地域へ出掛け、聞き取り調査にも取り組んでいます。6月には、シルバー人材センターや特別養護施設、事業所。10月には、在宅介護をされている方や老人クラブの役員の方を訪問し、話を聞きました。自分の目で見ると、話を聞く、体験することで実感をつなげられる学習につながります。生徒たちは「そうなんだ。」「初めて知った。」と、たくさんの驚きと発見に出会うことができました。



シルバー人材センターの方へのインタビュー

また11月には、グランドゴルフの練習にも参加しました。地域の老人クラブの方と楽しくスポーツに親しむとともに、「こうするんだよ。」「うまいね。」「あそこの子だね。」などと温かく声をかけていただきました。老人クラブの方との交流を通して高齢者の方の生活を知るとともに、自分たちも地域の一員であること。そして、地域を担っ



グランドゴルフの練習の様子

ていくという気持ちも育むことができましたように思います。3学期は、これまで調べたことを整理し、他学年の生徒や保護者、地域の方に向けて発表します。総合的な学習の時間を通して、地域に生きる一人として、自分たちの生き方を考えていきたいと思っています。

相談日

しあわせ相談センター

- 場所／老人福祉センター
- 時間／午後1時30分～4時
- ご相談は無料

	心配ごと相談	結婚相談	弁護士相談
1月	10日(日)	10日(日) 30日(土)	16日(土)
2月	10日(水)	10日(水) 29日(月)	20日(土)

善意のご寄附

10月16日から12月15日分まで(受付順・敬称略)

関ヶ原町老人クラブ連合会女性部

..... 一、八七九円

関ヶ原町食生活改善協議会

..... 五、〇〇〇円

関ヶ原石材グラウンドゴルフOB会

..... 一五、〇〇〇円

ありがとうございます。
ございました。



ふれあい会食

12月4日(金) 老人福祉センターにおいて町内のひとり暮らしのお年よりをご招待し、『ふれあい会食』を開催しました。午前中は、今須小学校3・4年生のみなさんと手作りのゲームなどで楽しみ、昼食はボランティアさんの手作り弁当をいただきました。今年はクリスマスイメージしたお弁当を作っていただきました。また、午後からは、『朗読の会 さわらび』のみなさんによる紙芝居や手遊び、高木英子さんとお弟子さんによる扇舞と詩吟を披露していただきました。参加されたみなさんは、久しぶりに会われた方々との会話もはずみ、子供たちともたくさん遊んで楽しい1日となりました。「楽しかったわ。本当にありがとう。」などたくさんのお言葉をいただきました。



※この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。

お知らせ

Happy Time Tea Salon

カップリング(告白タイム)なしで、気軽に出会える!

(西濃地区結婚相談員連絡会事業)

まずは、素敵な「お・と・も・だ・ち」をみつけませんか?



〈申込締切〉
平成28年
1月29日(金)

日 時：平成28年2月13日(土)
13:00～16:00(受付 12:30)
場 所：ハートピア安八(安八町氷取30番地)
参 加 費：500円

参加申込：関ヶ原町社会福祉協議会(結婚相談所)に
お問合わせください。
※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

お問合せ
関ヶ原町社会福祉協議会
☎43-2943

